

平成22年3月の春山安全登山講習会中に発生した
雪崩に関する聞き取り調査の結果概要について

平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会（以下「検証委員会」という。）では、下記のとおり、平成22年3月の春山安全登山講習会中に発生した雪崩について関係者からの聞き取り調査を実施いたしました。その概要は次のとおりです。

1 実施日

平成29年9月18日（月）10:30～14:45

2 場 所

栃木県庁南別館4F教育委員室

3 出席者

検証委員会 2名（委員長、委員1名）

関係者 6名（平成22年3月の春山安全登山講習会参加講師 等）

4 目 的

平成22年3月の春山安全登山講習会中に発生した雪崩に関して、雪崩発生時の様子やその後の情報共有の状況等について確認

5 聞き取りの結果

当時、春山安全登山講習会に参加していた教員からは、次のとおり供述が得られた。

- ・ 事故発生時は天候もよく、雪はしまっていた。
- ・ 頭まで雪をかぶった生徒が2、3人いたと思うが、怪我人はいなかった。
- ・ 事故当日又は翌日に、スキー場のセンターハウスに講師が集まり、雪崩について情報共有を行ったものの、参加者は講師のみであり、引率教員全員の間で情報共有が図られたわけではなかった。
- ・ 怪我人がいなかったことから、雪崩について高体連、県教委等に報告せず、記録も残さなかった。

関係者から、事故発生直後の斜面を撮影した写真の提供を受けた。

また、平成29年3月27日の春山安全登山講習会中に雪崩が発生した斜面について、以前（十数年前）にスキー場関係者から、「雪崩が起きやすい場所なので注意するように」と聞いたことがある。」旨の供述が得られた。

6 書面による調査結果

当時、春山安全登山講習会に参加していた生徒は、聞き取り調査には不参加であったが、連絡の取れた4名に対しメール等による書面調査への協力を依頼したところ、3名から回答が得られた。

主な内容は以下のとおり。

- ・ 他の参加者と山の斜面で休憩中に流された。
- ・ 轟音とともに「雪崩だ！」との声が聞こえ、間もなく雪崩に巻き込まれ身動きがとれなかった。息ができず死ぬかもしれないと思ったが、30秒程度で流れも止まった。
- ・ 雪崩に巻き込まれたときは、流れていく雪の上を腹滑りしているような状態で、事前の講習で覚えた滑落停止の態勢を無我夢中で行った。
- ・ ほぼ、全身が雪に覆われたが、何とか起き上がることができた。他の参加者も同じような状況であったと思う。他校の生徒で体が斜めになり足だけ出ている者がいたが、すぐに引っ張り出して大事はなかった。
- ・ 負傷者はいなかったと思うが、他校の生徒で足を軽く痛めた者が一人いたような気がする。

7 結果

聞き取り調査や書面調査により得られた供述等を踏まえ、平成22年3月の春山安全登山講習会中に発生した雪崩については、怪我人はいなかったものの高体連や県教育委員会に報告すべき重大な事故であったと位置付け、第一次報告の記載を見直した。